

2020年4月2日

各位

会社名 デンカ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山本 学
(コード4061:東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
福岡 智
(電話 03-5290-5511)

「アビガン」の原料供給に関するお知らせ ～新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マロン酸ジエチルを生産～

デンカ株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:山本 学)は、このたび日本政府の要請を受け、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の患者を対象とした抗インフルエンザウイルス薬「アビガン®錠」(一般名:ファビピラビル、以下「アビガン」)の原料となるマロン酸ジエチルを供給することを決定しました。当社青海工場(新潟県糸魚川市)にて、本年5月より生産を開始する予定です。

当社は、新型コロナウイルス感染症への対策を社会的責務と捉え、迅速に生産体制を構築し確実な供給を図ってまいります。

1. 本決定の背景

アビガンは、富士フイルム富山化学株式会社が開発した、COVID-19への治療効果が期待される抗インフルエンザ薬です。COVID-19は現在、治療法が確立されていない疾患であり、急速かつ世界的な拡大を受けて、本年3月11日には世界保健機関(WHO)がパンデミックを表明するなど、有効な治療法の早期発見と開発が急務となっています。

このたび、「アビガン」の国内薬事承認を進める日本政府より、国内での一貫した供給体制を構築するため国産の原料を使用したいとの要請を受け、マロン酸ジエチルの供給を決定いたしました。

2. マロン酸ジエチルについて

マロン酸ジエチルは、合成香料・農薬・医薬品などの原料として使用される有機化合物で、「アビガン」の原料となります。当社は国内唯一のマロン酸ジエチルメーカーであり、またその原料となるモノクロル酢酸も国内で唯一、当社関連会社のデナック株式会社が生産しております。グループ内で、原料から最終製品に至る一貫生産体制のもと2017年4月までマロン酸ジエチルの生産を行ってまいりました。

3. 今後の見通し

マロン酸ジエチルの生産にあたっては、2017年4月まで使用していた設備を再稼働するために、他製品の生産ラインからの人員配置転換等により一部製品の減産等一時的な影響が見込まれます。現時点では未定ですが、今後の精査により開示すべき事項が発生した場合は、速やかに公表いたします。

* 「アビガン」は富士フイルム富山化学株式会社の登録商標です。

以 上